

2008. **12**
No. **133**

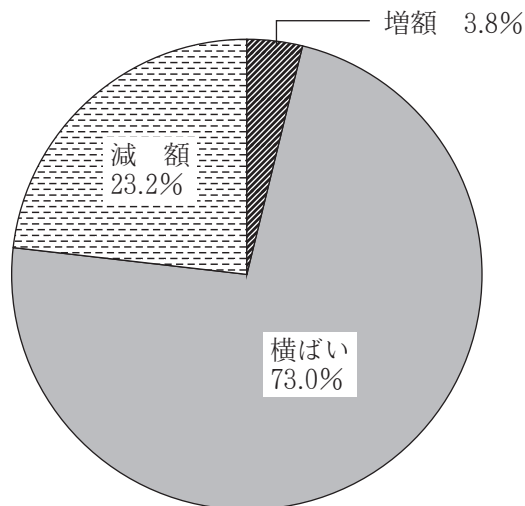
調査レポート

平成20年冬季

県内民間ボーナス支給見通し

— 増額・横ばい先が減少し、減額傾向が一段と強まる —

冬季民間ボーナス支給見通し（全産業）



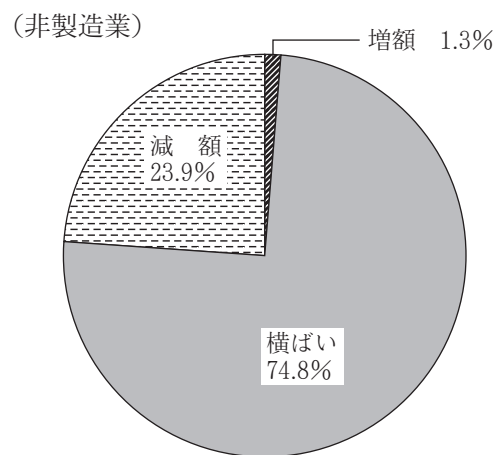
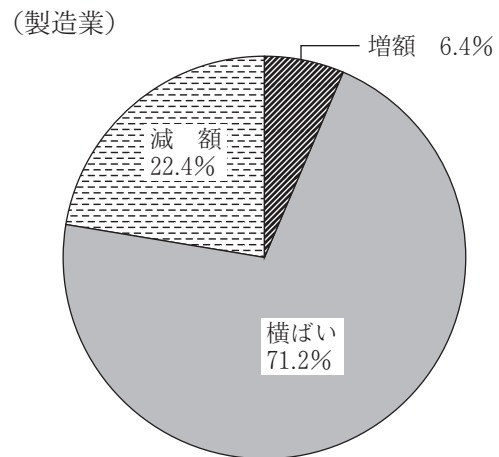
「第65回県内企業経営動向調査」から

当行の第65回県内企業経営動向調査（10月上旬実施、回答企業323社）によると、今冬のボーナス支給予定額は、昨冬の支給額に対して「増額」回答先割合が3.8%、（昨冬調査8.0%）、「横ばい」回答先割合が73.0%（同79.9%）、「減額」回答先割合が23.2%（同12.1%）となった。

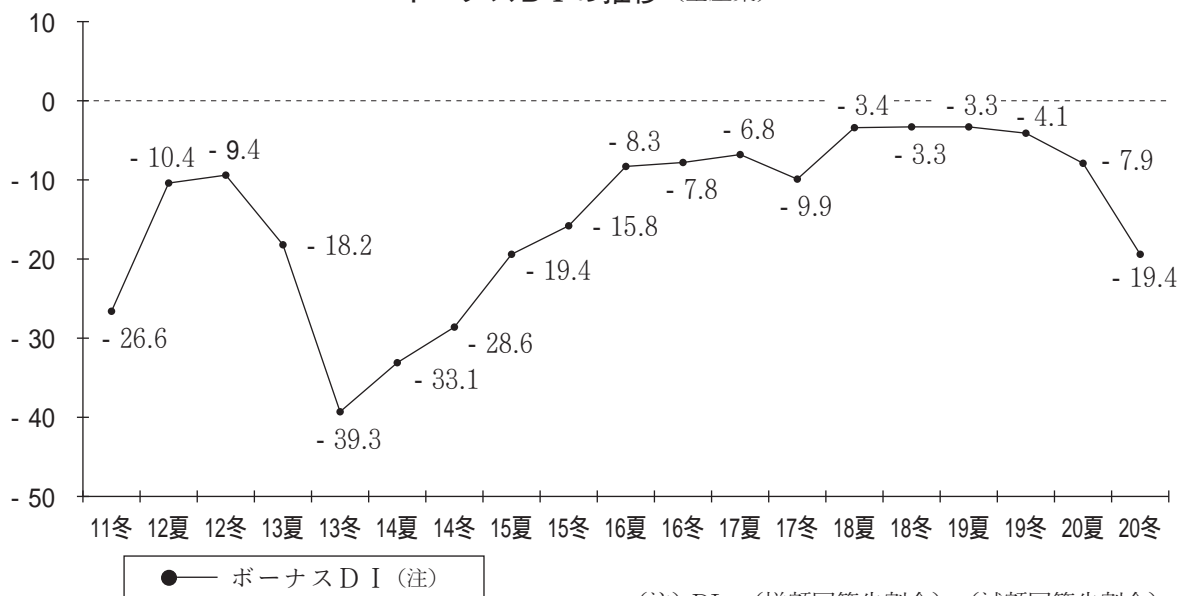
この結果、冬季のボーナスDI（「増額」回答先割合－「減額」回答先割合）は△19.4となり、昨冬の△4.1から15.3ポイントと大幅に悪化し、「横ばい」が7割を占めつつも、減額傾向が急速に広がりを見せる状況となっている。

ボーナス支給に影響を与える要因のひとつである県内経営者の景況感は、今回実施した企業経営動向調査で急速に悪化していることが窺われる。20年度上期の業況DI（「良い」から「悪い」を引いた値）は、13年度下期以来の低い値となっており、下期についても更なる厳し

冬季民間ボーナス支給見通し



ボーナスDIの推移（全産業）



(注) DI = (増額回答先割合) - (減額回答先割合)

さを予想している。また、企業業績についても、20年度上期は5期連続の「減益」となったほか、下期についても「減益」を見込んでいる。

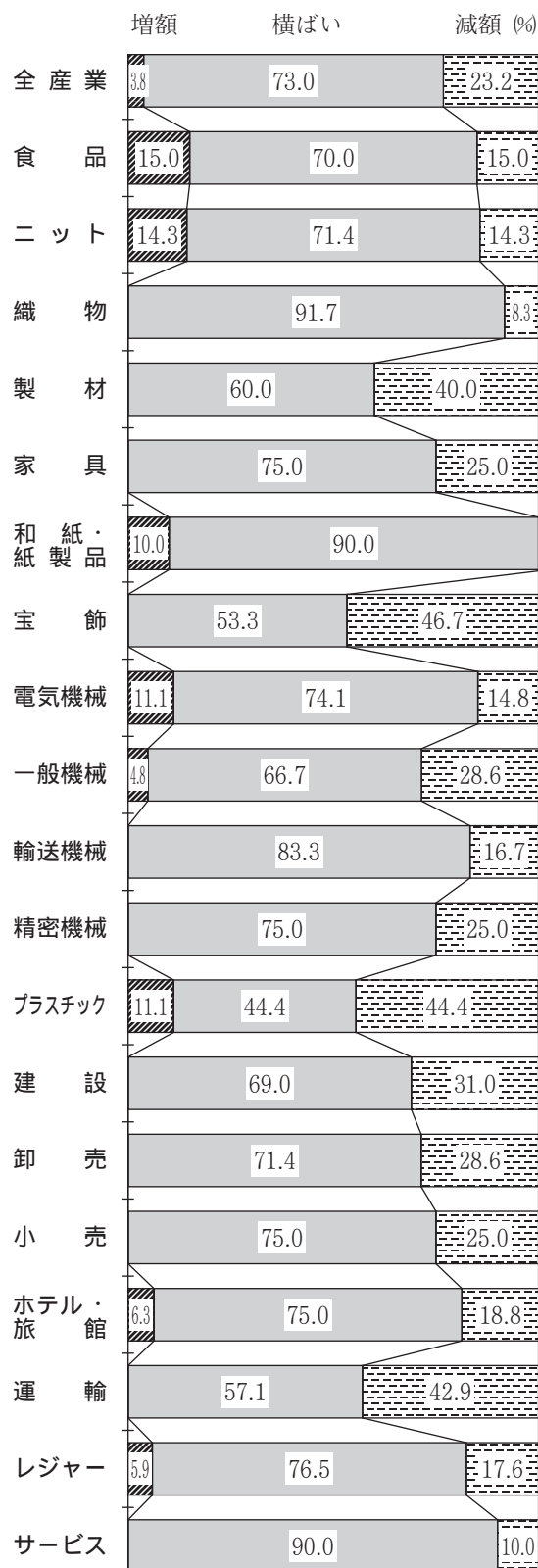
一方、影響を与えるもうひとつの大きな要因である雇用情勢は、緩和基調を辿っている。有効求人倍率は1倍を割り込んだままであり、低下を続けている。企業経営動向調査でも、雇用の充足感は、全業種ではわずかに不足ながらも、製造業では過剰に転じており、経営上の問題点においても雇用関係は指摘割合が減少している。

こうした、業績の悪化、雇用環境の軟化を背景に、ボーナス支給に係る負担を抑制する動きが、今回の調査結果に現れたものと思われる。

業種別にみると、製造業は、「増額」回答先割合が6.4%（昨冬9.1%）、「減額」回答先割合が22.4%（同10.4%）、ボーナスD Iが△16.0（同△1.3）となり、昨冬と比べて減額傾向が鮮明となっている。製材、宝飾、プラスチックで減額先が40%を超えたほか、機械関連でも、一般機械、輸送機械、精密機械で昨冬の「横ばい」から「減額」に転じている。

非製造業は、「増額」回答先割合が1.3%（昨冬6.9%）、「減額」回答先割合が23.9%（同13.8%）、ボーナスD Iが△22.6（同△6.9）となり、製造業同様に減額傾向が強まっている。運輸で減額先が4割を超えたほか、建設、卸売、小売、ホテル・旅館、レジャーなどでも減額を見込んでいる。

冬季民間ボーナスの業種別支給見通し



山梨中銀

年末ローン

〈お取扱期間〉
平成20年11月4日(火)～平成20年12月30日(火)

中小企業・個人事業主のみなさまの事業発展にお役立ていただく
ためのご融資です。

賞与資金など年末資金としてお気軽にご利用ください。

お申込み いただける方	中小企業・個人事業主の方で、1年以上同一事業を営まれており、今後も継続して事業を営まれる方
お使いみち	事業に必要な運転資金
ご融資金額	1,500万円以内（無担保の場合は、1,000万円以内）
ご返済期限	平成21年5月29日(金)
ご返済方法	分割返済または期日一括返済

※審査の結果によってはご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

●お問い合わせは、お近くの〈山梨中央銀行〉の窓口、
または下記フリーダイヤルまでお気軽にどうぞ



0120-201862

照会コード

9

受付時間/9:00～17:00(月曜日～金曜日)
ただし、銀行休業日は除きます

ふれあい、さわやか

山梨中央銀行